ボーリング柱状図

調　査　名　第二種漁港　沖浦漁港水産物供給基盤機能保全事業

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．3	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町明石地内			北緯	34° 12’ 21.46″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成 30年 2月 21日 ～ 30年 2月 22日	東経	132° 52’ 28.18″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	−5.31m	角度	上 180° 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	D1−B（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	9.00m								エンジン	NFD−13（ヤンマー）	ポンプ	BG−3C（東邦地下）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	−5.91	0.60	0.60		シルト質粘土	暗灰		極軟	浮泥，ヘドロ状 含水極大，粘性小で自立しない		0.00	ハンマー自沈			0／60								
1	−7.01	1.10	1.70		シルト混じり砂	褐灰	緩		マサ土起源の粗砂 シルト分を含み，極めてルーズな土層		0.60 1.20	2／11	2／11	2	6／32								
2					砂	黄褐	緩		マサ土起源の粗砂 下層部にかけて細粒分を混入する。		1.52 2.15	2	2	3	7／30								
3	−8.91	1.90	3.60								2.45 3.15	3	4	3	10／30								2／21
4	−9.91	1.00	4.60		礫混じり粘土質砂	黄灰	緩		崖錐堆積物 粗砂を主体とし，礫分，粘土分を含む。 不均質な土層		3.45 4.15	1／8	2／13	2	5／31								
5	−11.01	1.10	5.70		花崗岩風化土	褐灰	中位		花崗岩の強風化帯 芯部まで風化が進み土砂化が著しい。 DL級，砂質土に区分		4.46 5.15	6	8	11	25／30								
6											5.45 6.15	17	20	13／5	50／25								
7					強風化花崗岩	褐灰	強風化花崗岩		花崗岩の風化帯 層相は上位に似るも，非常に密である。 部分的に未風化礫を残す。 DH級，軟岩に区分		6.40 7.10	25	25／8		50／18								
8											7.28 8.10	50			50／10								
9	−14.31	3.30	9.00								8.20 9.05 9.13	50／8			50／8								2／22